

訪問記 FILE 02 三笠産業株式会社

企業

男女の別なく、グローバルな活躍を期待

プラスチックキャップ、ペットボトルなど各種包装資材の製造販売を行っている三笠産業株式会社。係長や部長などの管理職にも女性を起用するなど能力を重視した登用を行っています。



女性の若手エンジニアも活躍

会社を支えているのは「人」

大正元年（1912年）創業の三笠産業株式会社。創業当時は樽用の木工呑口を製造していましたが、戦後は木工に替わるプラスチックキャップをはじめ、ペットボトルなどの各種包装資材の製造販売を手掛けてきました。

同社が大切にしているのは、「会社を支えているのは人」という思い。子育て中の女性が多く働いています。現在、産休・育休を取得している女性は6名、時短勤務者は4名います。

様々な部署で活躍する女性たち

初めて産休・育休制度が利用されたのは約20年前。現在その女性は、環境保証部の部長として活躍しています。また経理部部长も産休・育休を経た女性です。

「男女の分け隔てなく、当社の社風や製品に魅力を感じ、暮らしのベースとなる『食』に貢献できる仕事をしたいという方には様々な職種で活躍してほしい」という企業の思いが大きく反映されているように感じます。同社では「昇任・昇格試験制度」が導入されており、試験合格者は管理職に任用される「資格」が与えられます。この試験は男女の別は

問わず、上司の推薦があれば誰でも受験することが可能です。また管理職だけでなく、製品開発や金型製作など男性色の強い部署で働く女性も多く、性別ではなく能力を重視した働き方の提案ができる企業として、大きな魅力を感じて入社する女性が多いようです。

あらゆる人が活躍できる企業へ

創業から100年を超え、次の100年を視野に、製品開発や技術の向上に力を入れ続けている同社。2014年には海外にも進出し、国内のみならず東南アジアやヨーロッパでも取り引きが行われるようになりました。

「将来にはもっといろんな国や地域で、当社の高品質な製品を使っていたきたい」というのは社員一同の思い。そこには、一人ひとりの力を最大限に活かしていきたいという企業の思いもあります。そのためにも「若い力、とりわけ女性の役割は大きい」と話すのは経理部部长の林田さん。女性の力を引き出し未来を切り開いていこうとする同社のさらなる挑戦が続きます。



三笠産業株式会社

<http://www.mikasa-ind.co.jp/> 本社/北葛城郡広陵町寺戸53番地

食品用液体調味料分野では国内シェアは30%。2017年11月に新社屋が完成しました。

VOICE ~活躍する女性たち~



経理部 部長 林田 綾子さん

大学卒業後は別の企業に勤め、その後2006年に途中入社しました。これまでに2度の産休・育休を取得しています。2人目の育休後に経理部の部長となり、現在は「仕事」と「子育て」の2本柱で頑張っています。

子どもの送り迎えもあり毎日バタバタと忙しい日々ですが、仕事をしている時間が私にとっては心のバランスを整えられる大切な時間にもなっています。時間をやりくりするのは大変な時もありますが、常に自分の動きを段取りしながら行動するように心がけています。よく夫には「段取り魔」と言われますが。

月に一回程度、子どもの学校の行事などで有給休暇を取ることもあります。事前の準備をして休みを取りますが、職場のメンバーも嫌な顔をせずサポートしてくれるので本当に感謝しています。

やはり女性が社会で活躍するには、企業のサポートがとても重要だと実感しています。私の後にも産休・育休を取得し、復職される女性が徐々に増えてきました。出産後の女性が第一線で仕事をするには家族のサポートはもちろん必要ですが、会社としても今後、女性の力がさらに発揮できるような環境づくりに率先して取り組んでいきたいと思っています。





起業家

訪問記 FILE 02

POWER OF FOOD

よしだ なお
吉田 奈麻さん

「食べること」は、明日のあなたをつくること

大切な人を亡くしたことで、「食べること」の大切さを実感した吉田奈麻さん。

「私のような思いをする人をなくしたい」と悲しみを行動に変え、起業した「POWER OF FOOD」の魅力とは。

「目の前の人のことを思い、その人に合った料理を出すのが薬膳」。そう語るのは、奈良市にある薬膳カフェ「POWER OF FOOD」の代表・吉田奈麻さん。素敵な笑顔で薬膳を語る女性ですが、内面にあふれるのは「食べ物」への情熱です。

2015年3月にカフェをオープン、現在では薬膳に関する講演やセミナー、さらに全国各地の農家が作るこだわりの作物の販売など、約2年でその活動は大きく広がりました。「すべてが人とのご縁なんです」とひと言。その熱き思いから、どんなご縁が広がっていったのか気になります。

「薬膳」とは相手を思うこと



大切な人を守りたいから

薬膳を学ぶきっかけとなったのは7年前のこと。最愛の夫を突然、亡くしたのです。ガンや心筋梗塞といった病気ではなく、生活習慣病が引き金となったものでした。当時は、「私の作った料理が原因で亡くなったのではないか」と後悔する気持ちもありましたが同時に、身体をつくる食べ物は大切だと実感。また息子さんや父親と体質が似ていることもあり、「同じような事にならないように」と管理栄養士が主催する料理教室などにも通いました。その頃から食と健康に関心が向くようになり、出会ったのが「薬膳」でした。

薬膳の魅力を伝えたい

マクロビやオーガニックなど様々ありますが、なぜか「薬膳」にひかれました。しっかり学ぶというよりは気軽に気持ちで月に1回、1年かけてゆっくり薬膳を学びました。薬膳と聞けば「難しい・・・」と考えがちですが決してそうではなく、「食材に悪いものはない」という考え方のようです。その人に合ったものを提供するというのが薬膳。「コレはダメ、アレはダメ」ではなく、身体が自然に欲しているものを自分で選んでいくことが大切なのだとか。薬膳を学びはじめてその魅力ハマり、「これを伝えられたいから楽しいな」との思いが起業への第一歩となり

吉田 奈麻さん

薬膳カフェ、レンタルスタジオ「POWER OF FOOD」代表。国際中医薬膳管理師。奈良市在住。薬膳の魅力を発信すると共に、「明日のあなたをつくるもの」をテーマにその人にあった食べ物や暮らし方の提案をおこなっている。



人との「ご縁」で今がある

なりました。

しかし、お店をはじめめる1年前までは飲食店をやるとは全く考えていませんでした。当時はまだ30代。「自分の人生の後半を、何かを懸けてやりたい！中途半端でないものを作りたい」と考えた結果、薬膳の魅力を伝えるカフェ「POWER OF FOOD」をオープンしたのです。

カフェという枠を超えて、イベントへの出店や企画、講演やセミナーも行っています。きっかけを伺うと、「薬膳への思いをあちこちで熱く語るからでしょうか」とひと言。「人とのご縁でしかない」と語るように、薬膳の魅力を伝えたいという思いが、いろんな形となって広がっているのです。「笑顔になる人を増やしたい」。そんな思いを胸に、笑顔でイキイキと語る姿が素敵です。



POWER OF FOOD

<http://pof.petit.cc/> 奈良市法蓮町421-4 井田マンション101号

P.O.F.が考える食の子カラをもっと伝えたくて、国際中医薬膳管理師である吉田さんが、店内で不定期に薬膳セミナーを行っています。詳しい活動はブログにて。

● 「なら女性活躍推進倶楽部」会員募集中！ ●

企業・事業所の皆様、女性活躍推進にぜひ一緒に取り組みましょう！

「なら女性活躍推進倶楽部」は、県内企業・事業所に会員登録いただき、行政・関係団体等とともに、男性も女性も働きがいを感じ、生き生きと働き続けることができる職場づくりに取り組んでいきます。

企業・事業所等のご意見をいただきながら、会員同士で行う交流会や女性活躍推進に取り組むためのセミナー等を企画・実行し、女性人材の確保・定着をサポートします。



- 1 女性活躍推進企業・事業所として、名刺等への「なら女性活躍推進倶楽部」のロゴマークの使用や、県の会員取組紹介ページ等を通じ、自社のイメージアップにつなげましょう。
- 2 企業・事業所が抱える女性活躍推進についての課題解決のための各種講演会、研修会等に積極的に参加して、自社での取り組みにつなげましょう。

- 対 象：奈良県内に本社又は事業所のある企業等（国および地方公共団体を除く）
- 登 録 要 件：法令遵守、女性活躍推進宣言等
- 倶楽部の詳細・会員登録手続き：<http://www.pref.nara.jp/48409.htm>
- お 問 い 合 せ：奈良県女性活躍推進課 ☎0742-27-8679（直通）

●奈良県女性センター

奈良県女性センターは「男女がともに支える暮らしやすい奈良県」をめざす男女共同参画推進のための拠点施設です。固定的な性別役割分担意識の払拭、女性のエンパワメントや活躍支援などを目的とした講座・セミナー、相談事業、女性団体の活動支援事業など様々な取り組みを行っています。

開館時間 火～土曜日 9:30～20:30

日曜日・祝日 9:30～17:00

休 館 日 月曜日（祝日と重なるときはその翌日）、年末年始



●編集後記

女性の活躍応援ジャーナル第2号は、いまも男性が多い分野や職場でそれぞれに「挑戦」し続けている女性たちのストーリーをお届けしました。いかがでしたか？すべての女性が自分の可能性を信じ、それぞれの花を咲かせることを願っています。先輩たちの歩みがあなたの羅針盤(Compass)となりますように。編集部では、読者の皆様のご意見、ご感想を募集しています。右のQRコードからお寄せください。(表紙は天理時報社営業部の山村聡美さん)



奈良県女性の活躍応援ジャーナル 第2号 2017年12月発行

発 行 奈良県

問 合 せ 奈良県女性センター 〒630-8216 奈良市東向南町6

TEL 0742-27-2300 FAX 0742-22-6729 <http://www.pref.nara.jp/11774.htm>

デザイン デザインスタジオ biotope

印 刷 天理時報社